

平成 27 年度効績章表彰について

平成 27 年 10 月 15 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、平成 27 年度効績章の表彰式を下記のとおり開催しましたのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 平成 27 年 10 月 14 日（水） 11:00～11:45
2. 場 所 パレスホテル立川（東京都立川市）
3. 受章者 20 名
4. 列席者 理事長 熊谷則道、専務理事 澤井潔、専務理事 高井秀之、
理事 奥村文直、理事 米澤朗、理事 渡辺郁夫、監事 稲見光俊、
企画室長、コンプライアンス推進室長、総務部長、経理部長、
情報管理部長、研究開発推進部長、事業推進部長 他

理事長 熊谷則道が表彰式で受章者に表彰状を手渡した後、祝辞を述べ、永年勤続の労に敬意を表しました。理事長の祝辞を受け、受章者を代表して防災技術研究部気象防災研究室長 飯倉茂弘が答辞を述べました。

【理事長祝辞要約】

勤続 25 年の効績章受章おめでとうございます。皆様が入社された平成 2 年は JR になって 3 回目の採用でありました。新生 JR で何かしてやろうという気概をもって入社されたことと思います。平成 2 年は国内ではバブル崩壊の予兆、国外では東西ドイツの統一など大きなレジームの変動があった年でありました。鉄道では 300 系新幹線の試作車が登場し、リニア実験線として山梨ルートが決定された年でもありました。

皆様の 25 年間はほぼ鉄道総研の 29 年の歴史と同じ時を刻んできており、鉄道総研の成長と同期しております。25 年を 1 つの通過点とし、さらに磨きをかけ、鉄道を強くし、鉄道の価値を高めるためにこれからもまい進して行って頂きたいと思います。

鉄道総研は「鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献する」というビジョンを立てました。鉄道技術をこれからも大きく成長させなければなりません。「鉄道総研のプレゼンスをより高めること」を目標としています。そのために、ダイナミックな研究開発、事故・災害の原因究明や対策の提案、さらに、鉄道技術で海外をリードし、グローバルな所で先端を走っていかうじゃないかという 3 つのミッションがあります。これらをしっかり実施し、高い品質の成果を生み出し、社会から信頼を得ることが大事であり、皆様の力をこれからもお貸し頂きたいと思います。

皆様が 25 年前、入社されたころ、先輩の背中を見ながら、1 つ 1 つ地盤を築かれてきたと思いますが、今は若い人たちから見られる方が多いと思います。そういう役割や立場になったと思います。まさに平成がスタートした時に社会にデビューされた皆様方、大きな活力を生み出してきた世代であります。これからも仕事を楽しみつつそれぞれの役割を果たして頂きたいと思います。

最後にご列席のご家族の皆さまに感謝を申し上げますとともに皆様の健康を祝し、私の祝辞とさせていただきます。

【受章者代表答辞要約】

本日は、勤続25周年を迎えました私ども20名に効績章を賜り、誠にありがとうございました。

私どもの多くは、平成2年の入社であり、JRが大学卒業の新規採用を再開して3年目にあたります。当時は平成景気にも後押しされ、各旅客・貨物会社においても、私どもと同期の社員が多数入社致しました。当時の鉄道総研は、財団法人として新しい理念に基づいた運営基盤を確立し、JR各社の技術開発の付託に応えるべく自主・自立した活力のある研究組織づくりに役員・職員の皆様が一丸となって取り組まれていました。

この25年の間、新幹線の速度向上、地震対策、脱線・衝突対策、信号システムの高度化など鉄道の安全性・信頼性の向上、情報技術を駆使した利便性の向上、ハイブリッド車両の開発による環境対策など 鉄道技術にはめざましい発展がありました。私どもも微力ながら、鉄道総研において、これらの業務に携わったことはこの上ない喜びであり、また誇りでもあります。

現在、国内の鉄道においては大規模地震、火山、豪雨・突風等の災害への対応、少子高齢化対策、インフラの老朽化など様々な課題に直面しています。一方、より安全かつ安定的な輸送の実現、更なる利便性・快適性の向上など、社会的要望や期待が益々高まっています。

鉄道総研では、これらの要望や期待に応えるべくビジョンを策定しました。この新たなビジョンに基づき、私ども職員は、革新的な技術を創造し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献することを念頭に、日本の鉄道技術の先端を担い、世界の鉄道技術をリードする研究所となるべく一層の努力が必要になるものと考えております。

本日の効績章を機に、初心に立ち返り、これまでの経験や実績に慢心することなく、鉄道総合技術研究所の一層の発展と社会への貢献に向けて、今後とも業務に精励することを誓い、御礼の言葉とさせていただきます。



写真 表彰状を手渡す理事長熊谷則道と受け取る受章者



写真 祝辞を述べる理事長熊谷則道



写真 答辞を述べる防災技術研究部気象防災研究室長 飯倉茂弘